

## はじめに

平成17年3月に山梨市・牧丘町・三富村の1市1町1村の合併により新「山梨市」が誕生しました。

本市の水道事業は、それぞれの地域の特性や事業着手時期の違いなどから、現在も旧市町村の形態を継承しており、上水道事業、簡易水道事業など多岐にわたっております。

安全で安心な水道水を安定的にお届けすることが水道事業者としての責務と考え、市民の皆さまに信頼される水道を目指してまいりました。

しかしながら、近年、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しています。

人口減少や節水機器の普及による水需要の減少など新たな課題への対応が必要となっております。また、東日本大震災などに代表される未曾有の自然災害に対する基幹施設の耐震化や危機管理対応も急務となっております。

一方で、水道事業拡張期である昭和40年代から昭和50年代にかけて建設された施設の老朽化に伴う更新経費の増大も見込まれております。

そこで、本市水道事業が直面するさまざまな課題の解決に向けた実現方策を含め、今後の進むべき方向性を新たに「第2次山梨市水道ビジョン」として取りまとめました。

今後も、山梨市まちづくり総合計画を基本とし、総合戦略とあわせて事業展開を図り、「市民から信頼される水道」の実現を目指していきたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたりまして、水道アンケートなどを通して貴重なご意見をお寄せいただきました多くの市民の皆さまをはじめ、関係各位に心からお礼を申し上げますとともに、皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



平成28年3月

山梨市長 望月 清賢